英語道弟子課程·「特別AB古」

主題: 生井利幸先生の精神性の中で 作験具現する「神聖美」

 美講日時: 2019年7月19日(金) 7:00

揚所: 英語道第3課程·第一稿古場(銀座圖森·與中域」)

本りおト提出日: 2019年7月20日 (土)

英語道弟子課程 弟子· H. K.

英語道弟子課程

弟子専用ウェブサイト

7/18(木)(6:00)頃に先生に電話で申し出、受理された。

世界レヴェルへの道

弟子専用ページ

弟子の紹介

講師プロフィール

HOME > 世界レヴェルへの道 >

世界レヴェルへの道 告知 芸術

ア普通った生会では英の強できない、体験できないこと。 ましても生性料率失量という、宇宙規模の英知美意識を持つ发生に基に 生井利幸の精神性の中で体験具現する「神聖美」・・・英語道弟子課程

房川的:←

で 投稿日: 2019年7月18日

◆英語道弟子課程・「特別稽古」の告知

trantit lighten

1 主題

失生の 精神性

四百分

生井利幸の精神性の中で体験具現する「神聖美」

T実際に!根像ではない。

英語道弟子課程・第一稽古場(銀座書斎・「奥の聖域」)にて、清らかな静寂の空気感の下、生井利幸が表現する「神聖美に於ける"超 越的"美意識の世界・価値観」を体験具現。特別稽古では、「奥の聖域」にて、ルネサンス絵画、及び、バロック絵画を面前として、 「生井利幸の精神性」の中で、美意識の最高峰、即ち、「神聖美」を体験具現。今般は、特別稽古として、絵画の鑑賞、及び、瞑想·思 索の時間として、「20分の"超越的"時間的空間」を正式神聖賦与。

2019年7月19日(金)、7:00) 告知、九七日の型日、朝一省

一つの時間を 1×12 過ごすのだ、と だった。 20分は、この状没を考えると Yでも贅沢な、長い時間だと 思った。それを、一人の者に 見ずりされるしていう

英語道弟子課程(第一稽古場)→ 先生の精神性を表している 場がてあり、 一個人が営が、党間所

5 申し込み

2019年7月18日(木)

一自分がを受けていのか、 自分がといるような内容、構成であるのが、講義を受けるのか、講義は無いのか、 と、根像することも見の強いて見がらされている

PREV 神聖性に於いて「"非理性的"逆流」を生じさせる、自己中心的自我と固定観念が齎す悲劇・・・英語道弟子課程・「特別稽古」 の告知

電話にて、どめらかな時間を過ごすのか 記談(でるか? 「能動鑑賞及び、眼視、思索の時間として 20分の越越的時間的空間が」正式神聖具式をされる ホーム 世界レヴェルへの道 講師プロフィール 英会話道場イングリッシュヒルズ 生井利幸公式サイト と言恐言歌した。

弟子専用ウェブサイト

人事前準備、營智方法。二指導>

Copyright@2005-2019, English Hills All Rights Reserved.

日実際の紙の上で、青野みなして

A 当的发达小十十个成

③ 1一十七作成する(整理したこと) あすべて、一種にて、提出する。

〈特别稽古〉

| 終画の鑑賞 | 程見想 | 思索

生料率先生の精神性の中で"見て、感でで、考える

20分間

講義は無い。 無音の中で過ごす 20分間 → 贅沢なもの

ルネサンス絵画、及び、ベロック絵画 トラをれぞれ、製作者はいるけど…… 生井利季先生の精神性 英語道弟子課程・「特別稽古」 主題: 生井利幸先生の精神性の中で体験具現する「神聖美」

2019年7月19日(金)、7:00 に、銀座書斎に入室し、 「特別搭古、主題:生井利幸矢生の精神性の中で、 作験具現する「神聖美」」を美講させていてこてごさました。

本日の経馬をについて、以下のようにまとめました。

科の特別稽古は、英語道名子課程、第一橋古場である 飲を書南において、さらに奥にある、奥の聖城」の中で 財子していたでいた。特別稽古でして。

「実の野域」は、すでは失生は準備を見るされており、あとは、ろうそくに火を灯すだけとのことでして・

入室する降に、注意を頂較しました。

ゆっくり進むこと。 足えを注意すること。 足えを見ないで行くと、つまずく、これは生き方も同じである。

新鮮な気持ちで、これらの事をうかが久るのは、女喜しいです。

方の今からの生き方、勉強の仕方を見直し、いっても原気から女白める
こと、いっも、まっさらないまけしい気持ちで、一种を教りなこと、自分に見ずらされた生を刻むこと。

を、ご指導いただきました。

「奥の聖城」は入客後、20分間を見ばらしていただきました。

20分間で私が発験したことを、ありのまま、書いて参ります。 生生から頂戴しましてと助言は、「体験臭現した、夏美を書くこと、 真実を書くことが「一番美しい。特に、自分における真美。 すると、自分にとって、意味を成す。 内容がどうであれ、 真美は美しいもの、よ。

私は私として得なし、ソファに座っていたのは事実でしたが、自分の存在の意識がありませんでして、100中には、那念せれたした。そこに、そこにいました。

そこにいることな楽しみました。 じの中に何かう角き上がらてくるのでもたく、頭の中を何かがよぎることも、何かで那麽されることもありませんでした。

目の前や上、た、気なしていないないないないでは、大きに、気をしていないないないである。 を動き方とすに、またがないて、は、まないでならくいときは、そのまま、即とめまして、とうないときは、まないですが、とうないです。 それがすれてのきたして、は、とうないですが、それがすれてのきたとして、は、とうないですが、それがすれてのきたました。 すました 一日では、ですました 一日では、ですないですが、ですました。 イエス・キリスト 不美の は、ですないです。 イエス・キリスト 不美に とここれ は です から は です まました の です まました です まま は 水道 にとっては という に は 水道 にとっては として です は 水道 にとっては だって は でして は です に だって は できました で 見ているのは で 間こえてきました。 で 見ているのは で 間こえてきました。 で 見ているのは で で に 関こえてきました。

東打了:00。外では車両の付き交う音が聞こえますが、凌く小さな、 やにも満たない 埃はなの大きさの 地球の中で、存在しているのかも かからない と思うと、外の音は聞こえずに私のいるところは無音になりました。 そして、こんな

今知は果てしてい宇宙の中の点として埃とて存在する地球の中にいて、自分の存在が小さすぎて見えない。

こう描いては、自分がどこしこいるのかを石壁かめたかったからですが、
先生の声を、絵画を通して聞いているのですから、失生の中にはいたと思いました。地球のとことによりとも、先生の中にいました。

余計なことがパロ中をよぎらないままが一っとこのまま座っていたいと、 思っているうちに、特別稽古が終ろしてしまいました。

和が 体験したことは、

ルネサンス絵画、及び、バロック絵画を面前にして間=えてくる。生井利幸先生の声、

石れと、宇宙の中の埃の絵、石れなけ…

でした。をれから、生井失生の発気を吸っていた、という事だけでした。

20分間を販うしていただきまして、ありがとうございました。